

神奈川ウォーキング参加H23-01

128回例会海の日

はまゆうの北限 天神島へ行こう！

日時：平成23年7月18日（月・海の日） 集合JR逗子駅9:45

コース：逗子駅＜バス＞→一色海岸（ストレッチ）→子産石→長者ヶ崎→久留和海岸→立石（昼食）→若命家長屋→秋谷海岸→二所神社→天神島臨海自然教育園散策とビジターセンター見学→佐島マリーナ近く（クールダウン）134号線バス停→逗子駅 17,000歩 12km

参加：吉越（L）平嶋（SL）大竹・佐藤伊・勅使河原・藤崎・吉野・小作・常盤・板垣・神谷・戸田高橋辰・平林・平石夫妻・熊坂・仲・田村夫妻・高橋文・市川・小野里・青松秀・小川・奈良弘前島・内田絵・福田・熊島・濱崎和・佐藤繁・藤原和・斎藤優・高林・中村・杉内・伊藤美・吉田小林・道田・伊藤真以上会員42名 ＜一般＞中村・紺野2名 合計44名

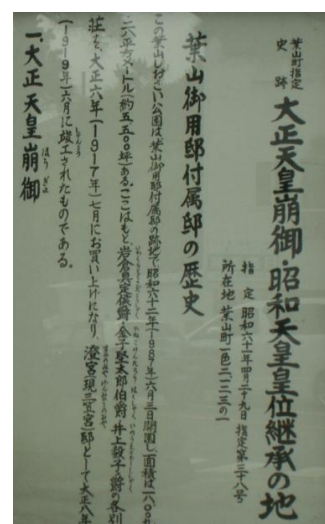
天候：台風6号接近の為、曇りがちで後半少しパラツキもあり、猛暑は避けられたが湿度高く給水タイム多く取り全員無事逗子駅到着16時半過ぎ逗子駅到着

- ・7月19（火）ゴルフ予定が有り、一方で夏の三浦半島西海岸の素晴らしいだろうと行きたい気分。丁度台風6号が接近、猛暑ウォーキングは避けられ、翌日ゴルフは中止の可能性ありと、急遽7/17（日）夜遅く決定し吉越L・平嶋SLに参加メール入れました。予想通り18日（海の日）は曇りがち、ウォーキング中ゴルフ中止の携帯入る。台風様のお陰で三浦半島西海岸の立石・秋谷・天神島の素晴らしい景観を満喫出来ました。アフターウォークも明朝早起き車運転の心配なく美味しく戴き、帰宅23時過ぎでした。（23,900歩）
- ・総勢44名で、班分けを誕生日で指名、1～4月生まれ15人、5～8月生まれ17人、9～12月生まれ11人の3班構成（吉田さん途中合流）、ユニークな発想でした。
- ・平成23年7月2日（土）総会に出席出来なかった方への表彰をされ、「観光ボランティアが足で調べた・三浦半島きままに散歩マップ」が小さく要領を得たガイドマップで判り易く、吉越L・平嶋SL他下見を含め味のある「海の日ウォーキング」でした。有難うございました。



↑一色海岸バス停を降りると
「葉山 しおさい公園」

↑JR逗子駅で集合と資料配りの運営委員の皆さん。葉山行きバスを長い列で待つ10時丁度出発：行きは一色海岸まで¥240。40年前葉山に来たことが有るが全く覚えてない。三浦半島ウォーキングは数回来ているが西海岸の散策は初めての様である。





↑吉越しからコース説明



↑戸田さんによるストレッチ



↑一色海岸を歩く、海水浴客も台風で少ない→



↑砂浜に咲く花のお名前は？



下山川の赤い橋を渡る。遠くに富士山かすかに見える





↑「私達にはもう関係ないわよ！」

↑円乗院



立石公園で昼食・・・それぞれのポイントで景観と浜風を受けて



←娘と親爺の親子？



↑ 4人の美熟女で景観を盛り上げて戴きました

昭和五十二年市制施行七十周年記念
横須賀風物百選

立石

波打ち際に空へ向かって突き出ている巨岩を「立石」と言い、同時に、この付近の地名をも立石と呼んでいます。

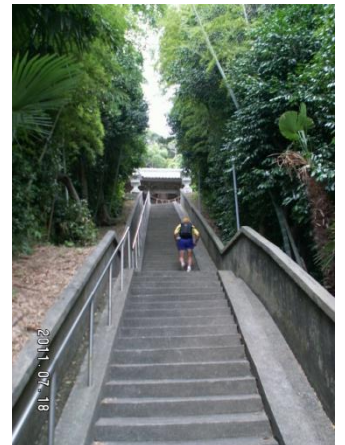
この巨岩は、約二千万年前、海底に積み重なってできた地層が固まって、長い間、波に削られてきたものです。地質は凝灰岩で、高さ約十二メートル、周囲約三十メートルです。

「立石」は、奇岩としての価値よりも、「立石」の先に張り出ている「ぼんてん」と呼ばれる岩場と、そこに自生する松、さらには海をはさんで、丹沢・箱根・伊豆の連山や、その上に浮き出た富士の借景により絵画的な構図に真価を見いだせます。伊勢の二見が浦の夫婦岩も同じことで、二つの岩を結ぶしめ縄と、その間から昇る真紅の朝日があって、初めて夫婦岩が生まれます。

江戸時代の風景画家、初代安藤広重は、ここ立石の絶景を「相州三浦秋屋の里」と題して描いています。

この「立石」の風景は、空気の澄んだ晩秋から冬にかけてが最高です。その手前になると、アマチュアカメラマンが「立石」に落日のかかるのを辛抱強く待ち構えている姿を多く見かけます。





秋谷新明社の石段98段を駆け足、先頭で登る平石さん↑



12人の健脚が
制覇しました

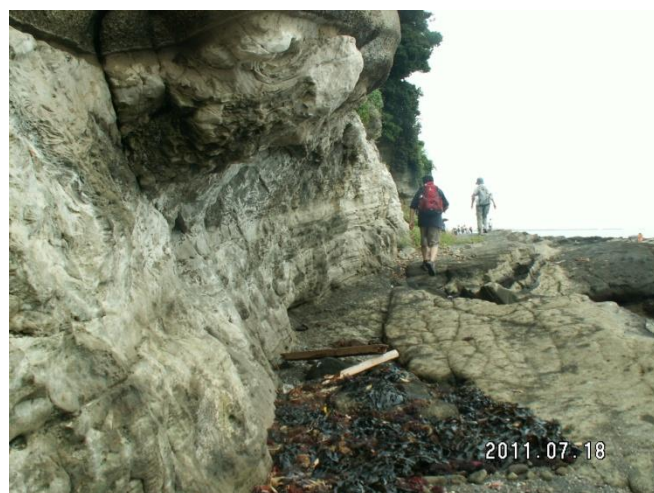


前田川を渡り秋谷海岸へ浜辺を通り
抜けることが出来るか吉越しと平石さ
んが先行探索。その間岸壁で給水休憩
結果OK。レッツゴー！





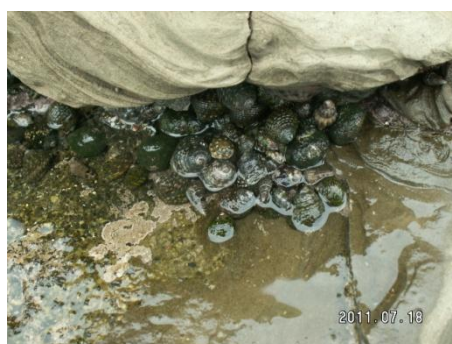
・岩とコンクリート塀の約30cmの狭い隙間を皆さん美味しく潜り抜けました。流石神奈川ウォーキングマン



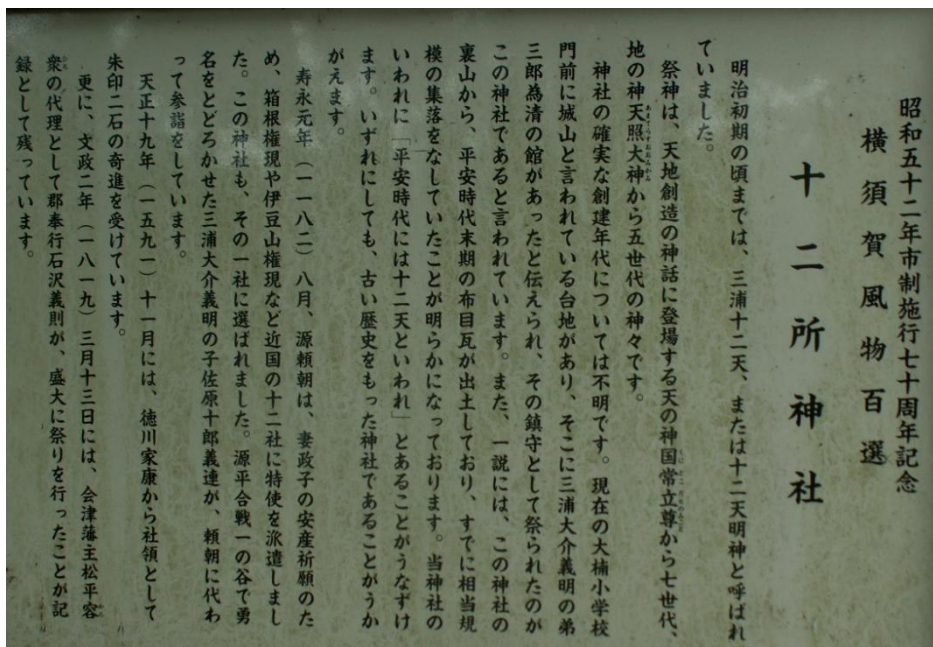
←綺麗な模様の岩肌海岸を波しぶき見ながら歩く↑



←難関突破のお陰で岩波海岸を堪能しました↑



給水休憩をして景観を眺める人と子供時代に戻って貝を拾う人・・・今晚の晩酌つまみ用ですぞ！



芦名城の鎮護として祭られた古い神社で、源頼朝が妻北条政子の安産を願う為、ご家人を参拝させた八社の一つとして「吾妻鏡」にも登場する。



天神橋を渡りブリキの「北原家」の前を過ぎると「天然島臨海自然教育園とビジターセンター」

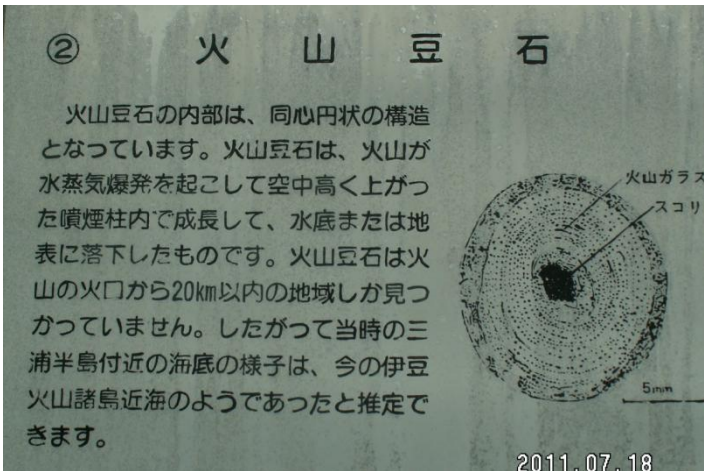




2011.07.18



2011.07.18



2011.07.18



2011.07.18

↑火山豆石の海岸に行く



2011.07.18

↑打ち上げられたワカメが散乱している



2011.07.18



2011.07.18



2011.07.18



2011.07.18

←ここでも貝拾い

- ・ここで小雨パラツキ有るも直ぐ止む



花の有る海岸で休憩くつろぎ写真



←シラス屋さんで可愛い女の子に冷たいお水を戴き御土産買い

→トンネルを抜けて134号線のバス停近くの駐車場で田村さんによるクールダウンバスに乗る。帰りは¥440—行き¥240=



¥200分海岸線をウォーキングしました。御褒美に冷たいビールをどうぞ！

・逗子駅近くの居酒屋で有志28人でアフターウォークと懇親会を楽しく、美味しくやりました。

編集後記

- ・7月2日(土) 総会後愛妻7人目の横浜孫宅通いから解放され、ストレス解消を兼ねて台湾一周旅行7/5(火)～9(土)に行きました。退職後海外旅行は遠くからと決めていましたが、今回は近い所で短期間の要望もあり国内旅行と同じ感覚で行ける所の台湾を指定されて決定。九州と同じ広さで、台北は現役時代行っているが、今回一周してみて、自然・歴史・文化・食事等予想外に感銘・感動を受けて帰りました。花蓮の「太魯閣溪谷」は特に素晴らしく、大理石のそそり立つ溪谷は日本では中々味わえぬ景観でした。
- ・台湾は400万年前の太平洋側のフィリピン海プレートがユーラシアプレートと斜めに衝突し、ユーラシアプレートの縁を押し上げ出来、その後の浸食で「太魯閣溪谷」が生まれた様です。東北大震災後4カ月後で地殻変動の怖さも感じながら、一方でこんな絶壁の素晴らしい溪谷を造りだすのだと、複雑な気持ちでバス及びポイント散策で景観を味わいました。神奈川ウォーキングも日本で味わえぬ景観を求めてのオーストラリアやイギリスウォーキング企画趣旨良く理解出来ます。退職後5回の夫婦海外旅行で、自然ウォーキングで印象に残っているのはアメリカグランドキャニオン&モニュメントバレー(西部劇の舞台)・トルコカッパドキアのギョレメ奇岩群・クロアチアのプリトビツェ湖畔です。番外編で参考までに紹介します。

